



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年10月31日

上場会社名 黒田電気株式会社
 コード番号 7517
 代表者 (役職名) 取締役兼代表執行役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役第一管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月13日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 URL <http://www.kuroda-electric.co.jp/>
 (氏名) 金子 孝
 (氏名) 森 安伸 (TEL) 03(5764)5500
 配当支払開始予定日 平成25年12月10日

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績（平成25年4月1日～平成25年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	135,414	60.2	4,097	51.2	4,306	55.1	3,086	59.5
25年3月期第2四半期	84,551	13.3	2,709	37.8	2,775	37.5	1,934	79.8

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 5,304百万円 (197.2%) 25年3月期第2四半期 1,784百万 (295.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	100.04	90.11
25年3月期第2四半期	62.70	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	144,563	58,925	38.2
25年3月期	109,655	53,706	46.1

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 55,177百万円 25年3月期 50,513百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
26年3月期	—	15.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	16.00	31.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	210,000	7.7	7,200	11.7	7,000	6.6	4,400	6.4	142.61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料3ページ「サマリー情報（注記事項）に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無

② ①以外の会計方針の変更：有

③ 会計上の見積りの変更：無

④ 修正再表示：無

（注）詳細は、添付資料3ページ「サマリー情報（注記事項）に関する事項」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

①期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期2Q	32,663,240株	25年3月期	32,663,240株
②期末自己株式数	26年3月期2Q	1,809,976株	25年3月期	1,809,836株
③期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期2Q	30,853,375株	25年3月期2Q	30,853,630株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続を実施中であり、あります。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

平成25年5月10日に公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、上記予想の前提条件その他の関連事項については、添付資料2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照下さい。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、政府の経済政策及び日銀の金融緩和等により、為替及び株価が安定傾向にあり、一般的に景気は緩やかな回復基調にあります。しかしながら、欧州債務問題や新興国経済の減速など、海外景気の下振れ懸念があることから、依然として先行き不透明な状態が続いております。

当社グループを取り巻くエレクトロニクス業界におきましては、一般的に緩やかな回復傾向にあります。その中で当社グループは、スマートフォンを中心とした情報通信関連分野及び大型液晶関連分野の販売が好調に推移し、また、自動車関連分野においては商社部門及び製造子会社の販売が堅調に推移致しました。

このような状況の下、当社グループは「継続的成長企業へチャレンジ」をスローガンに掲げ、国内・海外の連携によるグループ経営の強化と海外事業の拡大、戦略的な投資による新規事業の拡大、構造改革の継続的な推進により収益追求型の企業体質構築に取り組んでまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,354億14百万円（前年同期比60.2%増）、営業利益は40億97百万円（前年同期比51.2%増）、経常利益は43億6百万円（前年同期比55.1%増）、四半期純利益は30億86百万円（前年同期比59.5%増）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

日本においては、スマートフォンを中心とした情報通信関連部材及び大型液晶関連部材の販売が好調に推移致しました。この結果、売上高は986億9百万円（前年同期比62.0%増）、営業利益は27億54百万円（前年同期比36.0%増）となりました。

アジアにおいては、スマートフォンを中心とする情報通信関連部材の販売が好調に推移致しました。また、自動車関連分野において、製造分野の販売が堅調に推移したため、売上高は357億15百万円（前年同期比56.9%増）、営業利益は11億91百万円（前年同期比94.0%増）となりました。

その他のセグメント（北米及び欧州）においては、売上高は10億89百万円、営業利益は47百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は1,445億63百万円となり、前連結会計年度末に比べ349億8百万円の増加となりました。資産の部の内訳は、流動資産が1,190億99百万円（前連結会計年度末比315億76百万円増）、固定資産が254億63百万円（前連結会計年度末比33億31百万円増）であります。流動資産の主な増加要因は、現金及び預金105億26百万円、受取手形及び売掛金91億49百万円、商品及び製品84億9百万円の増加があったためであります。固定資産の主な増加要因は、有形固定資産15億49百万円の増加であります。

負債合計は、856億37百万円となり、前連結会計年度末に比べ296億89百万円の増加となりました。負債の部の内訳は、流動負債が757億83百万円（前連結会計年度末比290億9百万円増）、固定負債が98億54百万円（前連結会計年度末比6億79百万円増）であります。流動負債の主な増加要因は、電子記録債務282億5百万円の増加があったためであります。固定負債の主な増加要因は、退職給付引当金2億10百万円の増加であります。

純資産合計は、589億25百万円となり、前連結会計年度末に比べ52億19百万円の増加となりました。純資産の部の主な増加要因は、利益剰余金26億19百万円、為替換算調整勘定13億36百万円の増加であります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、294億22百万円と前連結会計年度と比べ111億57百万円増加となりました。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、122億61百万円の資金の増加（前年同期比106億83百万円増）となりました。これは、税金等調整前四半期純利益42億61百万円に対して、主に、たな卸資産の増加額83億10百万円、売上債権の増加額66億46百万円、法人税等の支払額13億22百万円の減少要因があったものの、仕入債務の増加額251億58百万円、減価償却費9億9百万円の増加要因があったためであります。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、9億93百万円の資金の減少（前年同期比19億41百万円増）となりました。主に、有形固定資産の取得による支出9億13百万円があったためであります。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、5億30百万円の資金の減少（前年同期比1億73百万円減）となりました。主に、短期借入金の純増加額1億76百万円の増加要因があったものの、配当金の支払額4億62百万円、リース債務返済による支出を含むその他2億44百万円の減少要因があったためであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の連結業績予想につきましては、現時点では平成25年5月10日に発表いたしました通期の予想数値に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
(税金費用の計算)

税金費用に関しては、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
(たな卸資産の評価方法の変更)

たな卸資産の評価方法については、従来、主として移動平均法による原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)を採用しておりましたが、第1四半期連結会計期間より、主として先入先出法による原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)に変更しております。

この評価方法の変更は、第1四半期連結会計期間より新基幹システムを導入したことを契機に、たな卸資産の評価及び期間損益計算をより適正にするために行ったものであります。

当該変更に伴う影響は軽微であるため遡及適用は行っておりません。なお、セグメント情報に与える影響は軽微であるため記載を省略しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	21,140	31,667
受取手形及び売掛金	47,389	56,539
商品及び製品	16,336	24,745
仕掛品	685	1,029
原材料及び貯蔵品	539	684
その他	1,512	4,521
貸倒引当金	△80	△88
流動資産合計	87,522	119,099
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,179	5,800
土地	4,449	4,911
その他(純額)	4,618	5,084
有形固定資産合計	14,247	15,796
無形固定資産		
のれん	254	1,052
その他	2,991	3,250
無形固定資産合計	3,246	4,302
投資その他の資産		
投資有価証券	3,285	3,794
その他	1,445	1,683
貸倒引当金	△91	△114
投資その他の資産合計	4,638	5,363
固定資産合計	22,132	25,463
資産合計	109,655	144,563

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	41,714	41,664
電子記録債務	95	28,301
短期借入金	501	796
未払法人税等	1,358	1,414
賞与引当金	566	648
その他	2,536	2,958
流動負債合計	46,773	75,783
固定負債		
新株予約権付社債	7,000	7,000
退職給付引当金	866	1,076
役員退職慰労引当金	32	33
その他	1,276	1,744
固定負債合計	9,175	9,854
負債合計	55,948	85,637
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,545	6,545
資本剰余金	6,767	6,767
利益剰余金	40,104	42,724
自己株式	△1,904	△1,904
株主資本合計	51,513	54,132
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△129	215
繰延ヘッジ損益	6	374
土地再評価差額金	501	496
為替換算調整勘定	△1,378	△42
その他の包括利益累計額合計	△999	1,044
少数株主持分	3,192	3,747
純資産合計	53,706	58,925
負債純資産合計	109,655	144,563

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	84,551	135,414
売上原価	74,711	123,047
売上総利益	9,840	12,367
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	1,130	1,480
給料手当及び賞与	2,417	2,664
賞与引当金繰入額	426	484
退職給付費用	246	233
その他	2,910	3,407
販売費及び一般管理費合計	7,130	8,269
営業利益	2,709	4,097
営業外収益		
受取利息	41	59
受取配当金	37	38
為替差益	—	130
その他	170	84
営業外収益合計	250	312
営業外費用		
支払利息	12	36
売上割引	55	33
為替差損	87	—
その他	28	33
営業外費用合計	183	103
経常利益	2,775	4,306
特別利益		
受取保険金	538	—
投資有価証券売却益	49	—
特別利益合計	587	—
特別損失		
固定資産除却損	—	45
投資有価証券評価損	294	—
災害による損失	145	—
投資有価証券売却損	56	—
特別損失合計	496	45
税金等調整前四半期純利益	2,866	4,261
法人税等	864	1,022
少数株主損益調整前四半期純利益	2,002	3,238
少数株主利益	68	152
四半期純利益	1,934	3,086

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,002	3,238
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△233	361
繰延ヘッジ損益	2	368
為替換算調整勘定	13	1,336
その他の包括利益合計	△217	2,065
四半期包括利益	1,784	5,304
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,778	5,136
少数株主に係る四半期包括利益	5	167

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,866	4,261
減価償却費	651	909
のれん償却額	66	77
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△9	27
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△36	81
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△38	△43
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	16	201
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△31	0
受取利息及び受取配当金	△79	△97
受取保険金	△538	—
支払利息	12	36
災害損失	145	—
投資有価証券評価損益 (△は益)	294	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△3,420	△6,646
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△872	△8,310
未収消費税等の増減額 (△は増加)	△179	△1,565
仕入債務の増減額 (△は減少)	3,975	25,158
その他	△787	△576
小計	2,035	13,514
利息及び配当金の受取額	88	109
利息の支払額	△12	△39
法人税等の支払額	△571	△1,322
特別退職金の支払額	△234	—
保険金の受取額	347	—
災害損失の支払額	△74	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,578	12,261
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	—	965
有形固定資産の取得による支出	△1,745	△913
無形固定資産の取得による支出	△832	△506
投資有価証券の取得による支出	△47	△7
投資有価証券の売却による収入	117	83
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△77	△395
その他	△348	△220
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,934	△993

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	337	176
少数株主からの払込みによる収入	11	—
配当金の支払額	△507	△462
その他	△198	△244
財務活動によるキャッシュ・フロー	△357	△530
現金及び現金同等物に係る換算差額	197	398
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,515	11,137
現金及び現金同等物の期首残高	12,875	18,265
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	27	20
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,386	29,422

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他（注）	合計
	日本	アジア	計		
売上高					
外部顧客への売上高	60,880	22,756	83,637	914	84,551
セグメント間の内部売上高 又は振替高	9,332	1,260	10,592	87	10,680
計	70,213	24,016	94,230	1,002	95,232
セグメント利益	2,024	613	2,638	30	2,669

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、北米及び欧州地域の事業活動を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,638
「その他」の区分の利益	30
セグメント間取引消去	40
四半期連結損益計算書の営業利益	2,709

当第2四半期連結累計期間（自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他（注）	合計
	日本	アジア	計		
売上高					
外部顧客への売上高	98,609	35,715	134,324	1,089	135,414
セグメント間の内部売上高 又は振替高	9,090	3,075	12,165	96	12,261
計	107,699	38,790	146,490	1,186	147,676
セグメント利益	2,754	1,191	3,945	47	3,993

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、北米及び欧州地域の事業活動を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	3,945
「その他」の区分の利益	47
セグメント間取引消去	104
四半期連結損益計算書の営業利益	4,097